出張講義のご案内

湘南医療大学
Shonan University of Medical Sciences

作業 001

こころの病気とリハビリテーション

教授　鶴見　隆彦

研究室場所
東戸塚キャンパス
A 棟 2 階　研究室 19

内容

こころの病気のメカニズムを知り、その対処方法やこころの健康の重要さを知りましょう。また、こころのリハビリテーションや作業療法についても説明いたします。

作業 002

高次脳機能障害のリハビリテーション

教授　鈴木　雄介

研究室場所
東戸塚キャンパス
A 棟 2 階　研究室 18

内容

私たちが朝起きてから寝るまでの生活は、全て脳の働きによって支えられています。脳卒中や脳外傷などの後遺症により、以前は当たり前にできていた日常生活や社会生活が、スムーズにできなくなってしまう障害を高次脳機能障害といいます。脳の働き、高次脳機能障害の概要とリハビリテーションについてお話しします。

作業 003

コミュニティデザインと作業療法

教授　田島　明子

研究室場所
東戸塚キャンパス
A 棟 2 階　研究室 27

内容

近年、誰もが安心安寧に暮らせる地域社会の実現が目指されるなかで、障害や病のある人を中心に据え、社会の在り方を変える取り組みが重要になっています。障害や病のある人の QOL(生活の質)を支える作業療法やその考え方についてお話しします。

作業
004

音楽家の病気、フォーカルジストニア

教授　田邉　浩文

研究室場所
東戸塚キャンパス
A 棟 1 階　研究室 4

内容

音楽家のジストニアは、バイオリン・ピアノ奏者では指、管楽器奏者では唇が引き攣ってしまい、演奏ができなくなる病気です。ジストニアの原因・予防策・リハビリ方法について体験談を交えてお話しします。

作業
005

再生医療とリハビリテーション

教授　田邉　浩文

研究室場所
東戸塚キャンパス
A 棟 1 階　研究室 4

内容

ｉＰＳ細胞や間葉系幹細胞を用いた再生医療が世界中で行われはじめており、さまざまな病気やケガに応用されています。最近では脳卒中にも再生医療が行われ始めており、医療の在り方が根本から変わる時代もそう遠くはないのかもしれません。再生医療とリハビリテーションの将来について皆さんと共に考えたいと思います。

作業
006

脳卒中後のうつ病に対しての関わりについて
～からだとこころのリハビリテーション～

准教授　三川　年正

研究室場所
東戸塚キャンパス
C 棟 2 階　研究室 34

内容

作業療法士は身体障害だけでなく、精神障害に対するリハビリテーションも「医療」として認められております。そのため、作業療法学専攻では精神疾患の授業に多くに時間を割いています。病気になられた方は、様々な理由でうつ状態になられる方が多くいらっしゃいます。身体面だけではなく精神面へのリハビリテーションを行える作業療法士の可能性についてお話しさせていただきます。

作業
007

リハビリテーションの治療効果を高める！医療コミュニケーションのすゝめ

准教授　増田　雄亮

研究室場所
東戸塚キャンパス
C 棟 2 階　研究室 38

内容

私は、リハビリテーションに関わるさまざまな医療情報や健康情報を「使う」「伝える」「つくる」ための具体的な方策について研究しています。広く言えば、医療従事者とクライエントが良好な信頼関係を築き、リハビリテーションの治療効果を高めていくための医療コミュニケーションのあり方を探求しています。自身が病気や障害を持ったことを想定しながら、「医療従事者にとって必要なコミュニケーションスキルとは何か？」について一緒に考えていきましょう！

作業
008

地域生活を支える作業療法士の仕事

講師　久保田　清子

研究室場所
東戸塚キャンパス
C 棟 2 階　研究室 40

内容

誰もが住み慣れた場所で快適に暮らし続けたいとの想いを持っているのではないでしょうか。障害や病気を持ちつつもご本人のその想いを実現するために様々な関係者が力を合わせて活動しています。作業療法士もそのひとり。地域で暮らすためにどのような活動を実際にしているかをお話しします

No Image

作業
009

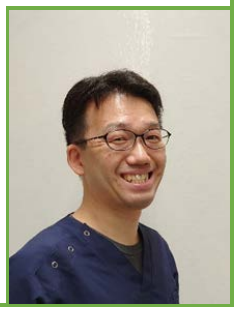
「読み書き」や「生活動作」などの困っていることが「うまくできない」原因と「うまくできる」ようになるためはどんなことをしたらいい？

講師　須鎌　康介

研究室場所
東戸塚キャンパス
C 棟 2 階　研究室 38

内容

学校での「読み書き」や，食事や着替え，落ち着いて人の話を聴くなどの「生活動作」の「うまくできない」原因や「うまくできるようになる」ため工夫などについて，脳波などの電気生理学的な手法や，測定機器の開発などの工学的な手法など様々な方法で研究を行っています．作業療法士としての支援方法を体験しながら，作業療法についてお話しします．



作業 010

働くを支援する作業療法

講師　新泉　一美

研究室場所
東戸塚キャンパス
C棟2階　研究室33

内容

作業療法士は，就労支援の専門家として位置づけられています．地域で生活を継続していくためには，収入が必要になります．私は，身体，精神，発達に障害がある方に対してその人らしく働き，継続できるように支援しています．制度をうまく活用し，少しずつ社会参加につなげる方法を事例を通しでお話させていただきます．

作業 011

特別支援教育における作業療法士の役割

講師　新泉　一美

研究室場所
東戸塚キャンパス
C棟2階　研究室33

内容

私は，特別支援学校で外部指導員として携わっております．支援学校教育において作業療法士として行ってきた工夫などをお話させていただきます．例えば，筆圧が濃くコントロールできない時の工夫，物事に集中できない時の環境調整などを知っていただければと思います．

作業 012

作業療法の「作業」ってなんだろう？

講師　西野　由希子

研究室場所
東戸塚キャンパス
C 棟 2 階　研究室 40

内容

作業療法では、人が作業をできるように支援したり、作業を通して元気にしたりします。この「作業」に焦点を当てるために、作業療法では身体・精神・発達・高齢期などの多様な障害のある人々の治療や支援をしてきました。最近では、「健康」といわれる人に対しても作業療法が必要だと言われています。でも、「作業」という言葉はとてもわかりにくいですね。そんなわかりにくい作業療法の「作業」についてお話しさせていただきます。

湘南医療大学

入試事務室

〒244-0806 神奈川県横浜市戸塚区上品濃 16-48

TEL. 045-821-0115

FAX. 045-821-0127

E-mail：nyushi@sums.ac.jp

HP：https://sums.ac.jp